

議請第1号 新東名高速道路の騒音対策を求める請願書

採択

【請願内容の概略】

新東名高速道路の開通以来、富士宮市貫戸区では騒音や振動による住民の睡眠障害など生活環境への悪影響が深刻化しています。中日本高速道路株式会社（NEXCO 中日本）は環境基準値内を理由に対策に消極的なため、富士宮市議会に対し、同社や関係行政機関へ必要な騒音対策（既設防音壁の嵩上げ、未設置区間への新設調査・検討、道路ジョイント部の定期点検・改修等）を講じるよう強く働きかけを求めています。

環境厚生委員会での審査

本請願に関する過去の経緯や事実を確認し、現地を確認した委員からは、ジョイント部の金属音などの騒音が不快なノイズに感じた等の意見が出されました。当局、貫戸区は、過去、事業者と協議を重ねてきましたが、事業者は、測定値が環境基準値内であるとして対策を見送っています。しかし、条件は異なるが、他地域の本件より高い防音壁の存在や、本請願が地元区の総意で提出されている現状を鑑みるべきとの意見、住民の健康被害を真摯に受け止めるべきとの意見が出る中、委員会では、出席者全員異議なく、採択すべきものと決定しました。

全会一致で採択！ 意見書の提出を可決し、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣へ提出

議第53号 令和8年度富士宮市一般会計補正予算（第2号）

原案可決

■議案（補正予算）の概要

高齢者集い・親睦活動費補助制度の9月からの再開に向けた補正予算

補正予算額：1,800万円の追加

※補正後の予算規模は621億8,100万円

※財源は財政調整基金繰入金から1,800万円を充当



【高齢者集い・親睦活動費補助制度】

高齢者団体等が、親睦会などを行う際の費用を富士宮市が補助する制度です。

- ・参加した65歳以上の市民1人あたり：上限3,000円
- ・3名以上の団体でその半数以上が65歳以上
- ・年間を通じて定期的に、高齢者の生きがいづくりや地域貢献活動を行っていること
- ・1団体1回、個人の利用は3回まで

議場での質疑

議会：なぜ今年度中の補正予算なのか。

市：高齢者のつながりづくりを途切れさせず、早期の活動再開を望む声に応えるため。

議会：当初予算より補正予算が多くなった原因は何か。

市：新規事業のため事前に利用者を予測することが難しかった。

議会：9月以降は何が変わるのか。

市：申請を事前予約制に変更する。

議会：事前予約の開始時期と周知方法は何か。

市：8月中旬から受付を始める。広報紙8月号や新聞、ウェブサイト、SNSで知らせる。

議会：1人3回の上限超えを防ぐ対策は何か。

市：名簿の住所、氏名、生年月日を過去のデータと照合し、重複利用や名前貸しを防ぐ。

議会：ルール違反時の対応は何か。

市：申請を却下し、補助金の返還を求める。

全会一致で可決されました！